

埼玉大学講義 -地域と人と社会の持続的成長を目指して-



3年目となる埼玉大学での講義。企業と大学がそれぞれの垣根を越えた技術や経験知の共有による若手の活躍機会創出を目指し、2023年度講義は4月から4ターム各8コマの日程で始まりました。

寺本氏は、エレクトロニクス事業部の技術開発に携わり、クロスアポイントメント制度※の前身となる実務家教員として2020年12月より埼玉大学大学院理工学研究科教授に就任。週1コマ

の講義のなかで、実社会での開発の経験や体験を通じて学生の活躍機会創出に注力しています。



寺本教授と巻田部長（右）

講義は毎回異なる社内外講師により進められ、開発リアリティーを共有しています。年2回登壇している巻田氏は、大学の経営学部を卒業後、メカトロニクス事業部の製作課に配属され現在は新分野開拓を担当。学生は自分の将来に不安であり興味津々です。

「普段の大学講義や研究の中では見聞きできないと思われる講義内容を構成しています。学生から将来へ向け前向きなコメントを頂いた時は

嬉しく思うと同時に、自身の今後への大きな励みになっています。今後、より世界への目が必要になると考えています。自社または日本だけの利益ではなく世界にとっての利益を考える視点や意識、そして世の中の変化に柔軟に対応していく適応力を身に着け、活躍されることを期待しています。」（巻田氏）

1月末で今年度の講義は終了となりますが、埼玉大学での講義は2024年度も継続して実施する予定です。



本件に関するお問い合わせ等がございましたら、[お問い合わせ](#) よりご連絡ください。

（経営企画本部 広報担当）

※クロスアポイントメント制度：人材流動性の向上や若手の活躍機会創出、組織の壁を越えた活躍による「知」の橋渡し機能強化を目的として、研究者等が複数の大学や公的研究機関、民間企業等の間で、それぞれと雇用契約を結び、業務を行うことを可能とする制度